

広報オススメ本 6月 テーマ「傘」



「傘のさし方がわからない」

岸田 奈美 著 小学館

「傘のさし方がわからへんねんてば」車いすに乗るようになってから片手で何か持つのが下手になったという母の話聞いて著者ははっとする。ダウン症の弟、車椅子に乗る母親との日々を綴ったエッセイ集です。



「ビニール傘」

岸 政彦／著 新潮社

僕たちは一本の傘を二人で差したままどこまでも歩き続けた。
大阪を舞台に、ガールズバーで働く若い女性やタクシードライバー等様々な人物の視点で、やるせない日常を描いた第156回芥川賞候補作です。



「刀と傘 明治京洛推理帖」

伊吹 亜門／著 東京創元社

幕末の京都、尾張藩士鹿野師光は後の司法卿江藤新平と出会う。維新の志士の怪死、密室状況で発見される刺殺体など2人は事件を解き明かしていくが……。幕末から明治初期の激動の時代を舞台にした短編集です。